

2021年度 自己評価報告書

大阪ベルエベルビューティ&ブライダル 専門学校

評価対象期間:2021年4月1日～2022年3月31日

2022年4月1日現在

評価	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

目次

1. 学校の教育目標

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- 関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適正に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受け入れ募集

- 学生募集活動は、適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する開講講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 学園・学校の教育目標等

【学園理念】

ロイヤル学園に関わる全ての人へ教育を通じて感動を提供し、社会へ貢献する。

【学園コンセプト】

本気を生み出し、幸せを広げる。

【ビジョン】

日本で一番、素晴らしい美容とブライダル教育をする専門学校を目指す。

【教育目標】

ミライ創造の旗手であれ

【ミッション】

最高の教育と顧客サービスによって、我々に関わる全ての人の幸福を実現する。

【バリュー】

- ① 相手の幸せを追求することにより、自らの幸せを手に入れる
- ② 崇高な仕事に誇りと責任を持ち、常に自己を磨き続ける。
- ③ 変化を恐れず、変化を受け入れ、変化を楽しみ、常に進歩する。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
(1)－1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8
(1)－2	学校における職業教育の特色は何か	3.5
(1)－3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6
(1)－4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.4
(1)－5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
学園の理念及び目指す方向性を社内報や事業計画書等を用いて正しく理解するよう前年度同様勉強会も実施。 勉強会後には全教職員レポートという形で教職員個々の理解を深め、理念の共通認識を行えている。 HP・パンフレットにおいても明文化しており、学生、保護者に学校の紹介ではなく、理念そして将来どういった道があるのか等、明確に示している。 卒業後に即戦力として活躍できる人材を輩出すべく実践教育に注力するほか、卒業後の生徒の離職状況の調査等を行い離職理由等のデータを取り在校生の早期離職防止や卒業後のフォロー体制もとれている。		

(2) 学校運営

	評価項目	評価
(2)－1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
(2)－2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9
(2)－3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.5
(2)－4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.8
(2)－5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.6
(2)－6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
(2)－7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.7
(2)－8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
10月～12月にかけ、学園の理念・方針、事業計画に基づき社会情勢等も踏まえた次年度の計画を策定。 運営組織や規定等も見直しを行い、明確化している。 2020年度から続くコロナ禍による不測の事態の際にも、臨機応変に対応できるような工夫をし学校運営を行えた。 教育活動やその他情報等に関してはHPにて情報公開を行い、パンフレットにも記載を行っている。		

(3) 教育活動

	評価項目	評価
(3)－1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8
(3)－2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
(3)－3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
(3)－4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7
(3)－5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.3
(3)－6	関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.4
(3)－7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
(3)－8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.2
(3)－9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
(3)－10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8
(3)－11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1
(3)－12	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1
(3)－13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.4
(3)－14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.7
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
2020年度からの新型コロナウイルスによる影響もあったものの対面授業を基本とし、地域の感染状況等によりオンライン授業も併用することで大きな混乱はなく昨年度の反省点を活かした年度であったと感じている。 そういった点も加味した上で、美容業に関連する企業団体等のアドバイスを取り入れた課程を実施し、内容に即した学習時間や科目、生徒のレベル等を考慮しカリキュラム等の策定にあたっている。 教員の勉強会等を毎月実施し、教員力の向上に努めており、今後学園の理想とする教育を行っていくにあたって更に優秀な教員を確保していくことが重要であると考えている。		

(4) 学修成果

	評価項目	評価
(4)－1	就職率の向上が図られているか	3.8
(4)－2	資格取得率の向上が図られているか	3.6
(4)－3	退学率の低減が図られているか	3.7
(4)－4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.8
(4)－5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.5
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
外部企業、OBOGやサロンオーナー等と連携し授業において実践教育という点に重きを置くことでミスマッチを防ぎ就職後の離職率低減に力を入れている。 就職専任の職員の配置も行い、就職率だけではなく離職率の高いと言われる美容業界において、卒業後生徒が離職をしないよう、教育を行っている。 卒業後の離職調査も行い、フォローは勿論のことヒアリングを行いその原因・理由を洗い出し、在校生の就職教育に役立てている。 国家資格や必要資格を目標に、生徒への個別指導等の対策を実施し資格取得率の向上に努めている。 また、出席率等に応じて個別面談を行い保護者や心理カウンセラーとも連携しながら退学率の低減を図っている。		

(5) 学生支援

	評価項目	評価
(5)－1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9
(5)－2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
(5)－3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
(5)－4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.2
(5)－5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
(5)－6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.3
(5)－7	保護者と適切に連携しているか	3.4
(5)－8	卒業生への支援体制はあるか	4.0
(5)－9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
就職専門部署を配置し企業との連携、学生への適切な進路指導を行っている。 学生に対する経済的支援に関しては学園独自のミライ応援基金を設立し、一人暮らしを行う生徒への経済的支援、家庭内での経済状況に応じて授業料の一部免除を行う経済支援を実施。 学生生活の中では担任による面談やカウンセラーの配置、健康診断の実施等、生徒が安心して学べる環境づくりを行っている。 卒業生に関してもフォローを行い、そのフォローの中で得た情報を在校生の教育に活かし卒業後即戦力として活躍できる人材を輩出できる環境整備を行っている。		

(6) 教育環境

	評価項目	評価
(6)－1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7
(6)－2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
(6)－3	防災に対する体制は整備されているか	3.1
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
2020年度からのコロナ禍において、今年度に関してはオンライン授業や感染症対策における環境整備を行えた。今後施設・設備の拡充の予定もあり、教育環境の向上に努める。 防災に関しては安心・安全な環境を維持する為、法令に基づいた点検の実施、及び学園内にて施設管理の専門部署を確立し随時確認、修理を行い安心・安全な環境維持を継続している。 地震や火災に対する避難訓練の実施や備蓄品の設置でグループ校への支援等の体制も整えている。		

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
(7)－1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
(7)－2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8
(7)－3	学納金は妥当なものとなっているか	4.0
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
学生募集の専門部署、及び学校教職員が連携をとり学生募集に関する対応を行っている。 オープンキャンパスにおいては、校舎における新型コロナウイルス対策を十分に行いつつ、オンラインでの実施も行っている。 それぞれの学科における教育成果の説明を学校パンフレット、学校見学時に実行している。		

(8)財務

	評価項目	評価
(8)－1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5
(8)－2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5
(8)－3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
(8)－4	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
生徒数確保により財政基盤は安定しているといえ、予算・収支計画、会計監査は適正であり、財務情報についてもHPにて公表を行っている。		

(9)法令等の遵守

	評価項目	評価
(9)－1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
(9)－2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
(9)－3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
(9)－4	自己評価結果を公開しているか	4.0
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
法を遵守した学校運営が為されている。 個人情報についてもシステムパスワード等により適正に行っている。 自己評価実施により問題点を抽出し改善を行っており、結果に関してもHPで公表を行っている。		

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(10)－1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
(10)－2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
(10)－3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.0
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
2020年度に引き続き、2021年度においてもコロナ禍により地域・企業イベント等に関しては生徒の安心安全な教育体制を行う上で減少している。 今後に関しても、生徒の健康管理及び社会情勢を踏まえ、臨機応変に対応をする。		

2021年度 大阪ベルエッセルビューティ&ブライダル専門学校 学校関係者評価報告書

大阪ベルエッセルビューティ&ブライダル専門学校 学校関係者評価委員会は、2020年度 自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施し致しましたので、その結果を次の通り報告致します。

開催日時 2022年5月26日13時00分

会場 統括センター会議室

学校関係者評価委員会 委員

委員 ・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・株式会社賑屋

橋本 大地
菅野 政信
山中 扇

出席委員 ・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・株式会社賑屋

橋本 大地
菅野 政信
山中 扇

～各評価基準の学校関係者評価・意見～

●基準1 教育理念・目標

評価者意見

- ・理念・目標は勿論のこと今後学園全体がどういった方向性で進んでいくのかという話から、教職員の生徒や業務に対する考え方まで毎月理事長による勉強会を前年度に引き続き開催されており、教職員にとっても迷わず業務に当たれているのではないかと感じる。
コロナ禍において先が見えにくい現在においてこういった勉強会は個人の助けとなるほか、組織の結束力になるかと思うので継続して頂きたい。
- ・HPやパンフレットにおいても学内で在学生在がどのような学校生活を行っているか等分かりやすく、入学を考える高校生にもわかりやすく、また在学生の保護者様にも安心してもらえているのではないかと感じます。
採用する企業目線でも、どういったことを学んでいるのかわかりやすいHPで好感がもてる。

●基準2 学校運営

評価者意見

- ・社会情勢も踏まえ、目的・運営方針に沿った計画を策定出来ているように思う。
2020年度の経験から計画の変更があった際にも臨機応変に対応し、生徒の安全を守りつつ質の高い教育を提供する、という姿勢が伺えた。
- ・組織としての規定等に関してはコロナ禍やその他の国の政策に伴う面においても学園として今後の運営をスムーズに行うべく変更を行うなどして対応できているのではないかと感じる。

●基準3 教育活動

評価者意見

- ・対面授業を基本としつつ、新型コロナウイルスの状況においてオンライン授業を取り入れ分散登校をする等、工夫をされている。
専門学校として最も重要な実践的な教育という点から、オンラインでの授業はハードルが高いと想像できるが、学科授業に関してはオンラインの方が生徒によってはメリットもあり、今回コロナ禍において出た副産物とも言えるのではないのでしょうか。
今後、今回のような感染症や自然災害等ないとも限らない為、こういった体制を崩さず、臨機応変な対応を続けていけるようにして頂きたい。

●基準4 学修成果

評価者意見

- ・学園全体として就職率は上がっており、教職員によるフォロー体制が取れているのではないかと感じている。
また卒業生の卒業後の離職率調査も昨年に引き続き行っている。
離職が多い美容業界において難しい問題ではあるが、卒業生へのフォローを行うことで卒業生にとってプラスになることは勿論のこと、業界全体においてもプラスになることであるため、今後も続けて頂きたい。

●基準5 学生支援

評価者意見

- ・就職進路は勿論のこと、卒業生に対しても2020年度に引き続き分析を続けられており、学園で学んだことの結果まで責任を持って見られている姿勢が感じられる。
- ・生徒の何かあった時の相談先が設けられており、生徒は安心して学校生活を送っているのではないかと思います。
- ・健康管理に対しては、コロナ対策や陽性や濃厚接触となった生徒への対応はかなり大変であるのではないかと感じる。

●基準6 教育環境

評価者意見

- ・教育環境の整備として施設・設備においてはコロナ対策だけではなく整っていると思われる。
毎年度見直しを行い、より良い教育環境での生徒育成を目指しておられることが伺える。実際に今後施設・設備の拡充予定もお聞きし、教育環境の向上に尽力していることが伺え、期待できると感じる。
- ・防災に関しても引き続き、ロイヤル学園設置校が連携して行う体制(非常食や防災グッズ等)があり、生徒が安心して教育を受けられる環境を維持していると感じる。

●基準7 学生の受け入れ募集

評価者意見

- ・コロナ禍の現状においても学園全体の出願者数は昨年より増加しており良い傾向であると感じる。

●基準8 財務

評価者意見

- ・昨年と同様に適切であると見受けられる。

●基準9 法令等の遵守

評価者意見

- ・法令を遵守し、自己評価に関しても実施及び問題点改善がみられる。
HPにて情報公開もされている。

●基準10 社会貢献・地域貢献

評価者意見

- ・生徒の安全を一番に置きつつ、2020年度に比べるとイベント等の実施があり良い事であると感じる。
コロナ感染状況等も見つつ生徒の健康を第一に置きながら、生徒にとって有益な経験ができるような環境づくりをして頂きたい。